

【質疑応答要旨】

(委員)

市原市の千葉県循環器病センターの脳卒中救急患者受け入れ体制については、平成 29 年度下半期から縮小され、平成 30 年 4 月には、脳神経外科医減員を理由に夜間の救急患者受け入れは休止され、平日の日中のみとなった。

7 月になり、時間外受入が一部再開されたところだが、管内の公立長生病院も外科医不足のため手術等への対応ができていない状況にあり、救急基幹センターとして頼りにしてきた長生地域の住民にとっては、非常に深刻な問題となっている。

現在、緊急搬送を要する患者は、東金市にある東千葉メディカルセンターまで時間をかけて搬送されているが、これでは救急・救命医療が危機的な状態にあると言わざるを得ない。

そこで、私どもは千葉大学医学部に対して、公立長生病院への医師派遣を要請したり、県担当課に循環器病センターの充実をお願いしているところである。

循環器病センターのこれからの体制等何か情報があれば教えていただきたい。

(事務局)

平成 30 年 10 月 3 日に県健康福祉常任委員会が循環器病センターについて質問し、県病院局が回答をしているので、その内容を説明する。

循環器病センターの医師数については、平成 29 年度に比べ平成 30 年度は脳神経外科など医師 4 名、医員 2 名が減少しているとのことである。

医師数が減員となったまま 7 月から週 2 日の脳卒中の時間外受け入れを再開しており、担当医師が疲弊することなく継続できるのかといった質問については、院内で十分な話し合いを行ったうえで再開し、受け入れ件数も徐々に増えており、継続できると考えているとのことである。

また、循環器病センターが時間外の脳卒中患者の受け入れを制限していることにより、周辺の医療機関が受け入れに苦勞していないかといった質問については、周辺医療機関の病院長や各消防本部の救急隊に依頼した結果、円滑な搬送が行われていると聞いているが、搬送時間は長くなっているようであるとのことであった。

なお、高度医療機器を使用した最新治療を行なうことは優秀な若手医師の採用にもつながるのかといった質問については、最先端医療を行なうことにより、若手医師の研修意欲を醸成し、優秀な医師確保につながっていると考えているとのことである。

当センターとしても病院局、健康福祉部長に、委員からこのようなお話があったと改めて伝え、改善を図るよう要望していきたい。

(委員)

広域搬送という方法もあるが、日没後のドクターヘリは運航ができない。ドクターカーも搬送先がなければどうしようもない。今、循環器病センターの診療体制の立て直しを図らなければ、この地域の医療崩壊に繋がりがねないと懸念している。是非とも、保健所に地域の医療体制のフォローをお願いしたい。

(議長)

非常に大きな問題であるが、ここでセンターの課題に話を戻して、ご質問があればお願いしたい。

(委員)

災害が起きた際の飲料水について、井戸水の利用も効果的だが、井戸水の水質検査は保健所で行っているのか。

(事務局)

以前は保健所で行っていたが、今は照会があれば民間の検査機関の一覧を渡している。県が民間企業の事業を圧迫しないよう配慮している。

(委員)

井戸がどこにあるか保健所で把握しているのか。

(事務局)

保健所では把握していない。市町村で把握していると思われる。